

コロナ禍のなかで高校入試を考える！

新型コロナウイルスの感染拡大で学校が休校になり、自宅で学習する日が続いていると思います。テレビニュースや新聞記事では都道府県の知事の方々の大半が、緊急事態宣言の延長要請を表明し、それにとまって休校延長の方針を示しています。そればかりか知事の方々から9月から新学期という意見も出され、学校再開が見えにくいようになっています。国会でも衆議院予算委員会で政府に対して議員から「9月入学」に対して質され、それに対して安倍首相が「社会全体に大きな影響を与えるので慎重に」という意見もあるが・・・(略)・・・前広にさまざまな選択肢を検討していきたい」という見解を示しました。このような意見が国全体で議論され始めましたが、9月入学はそう簡単なことではありません。確かに、今後、緊急事態宣言の解除が一斉ではなく、地域によって異なる場合、学校再開は地域によって異なり、その結果教育格差が生じてきます。また、8月入学や9月入学は世界的な標準であり、海外の学校に留学しやすくなります。しかしながら課題も少なくありません。例えば国全体の会計年度や企業の会計年度は毎年4月から翌年の3月という期間であり、それに合わせて学校の卒業や企業の採用などが行われているのです。このように9月入学には利点、課題の両面があります。

現在、休校が続いているなか、勉強していますか。勉強していく先には、進路が待っています。ほとんどの生徒が高校に進学することになります。中学3年生はどのように高校選びをすればよいのでしょうか。もう既に、中学校2年時から志望校を決めている生徒は、それに向けて日々勉強等に励んでいるのではないのでしょうか。しかしながら多くの3年生の生徒は、まだ具体的な志望校を決めていないと思います。例年なら、6月に公立高校展、7月には私立高校展がパシフィコ横浜で開催され、夏休み期間中に各地区の公私合同説明会が開催されます。また、各高校で土曜や日曜、祝祭日等で学校説明会が開催され、これらの高校展や説明会等に行くことによって学校情報を得たり、校風や雰囲気等を感じたりすることができました。現在、今年度の公立高校展、私立高校展、公私合同説明会などの開催は中止になったり、開催が危ぶまれたりしています。そのような中で、どのように志望校選択のための学校情報を集めればよいのでしょうか。その前に、皆さんが志望校を決定するファクター(要因)を考えてみましょう。

学校を選択するには、いくつかのファクターがあると思います。中学生の皆さんが学校を選択するときのファクターに何があげられるのでしょうか。校風、施設環境、学力、経済面、学科・コース、進路、カリキュラム、生活指導、部活動、取得資格、入試の選考方法、系列・付属高校、大学や企業からの指定、留学・修学旅行などが考えられると思います。これらのファクターのなかから皆さん自身が重要なファクターを選択し、志望校を決定するのだと思います。

甲子園を目指すなら甲子園に行ける可能性のある学校、医師を目指すなら医学部に進学

実績のある学校となります。しかし、夢は必ずしも実現できるわけではなく、皆さんは夢をあきらめたり、新しい夢や進路の実現を考えたりします。そして、そこから夢の実現や将来就きたい職業、入りたい部活動などのファクターを考え学校を選ぶのだと思います。しかし多くの中学生は、いくつかのファクターを組み合わせて、最終的に志望校を決めるのではないのでしょうか。その際、志望校に対する志望理由が強ければ強いほど、受検に頑張れるのではないのでしょうか。そういう点では、志望理由が明確になっていないと受検勉強に身が入らなかったり、面接で志望理由を上手く話すことができなったりします。志望理由は面接シートに書いたり、面接で答えたりというように、重要な役割を果たします。

自分で志望校の観点に対して面接シートに記したり、面接で話せたりするようにするにはいけません。強い志望理由には、その学校への思いが感じられることが少なからずあります。「なぜ、本校なのか」に答えられることが大切です。その答えを用意するには、その志望校の情報をどのように収集すればよいのでしょうか。学校説明会、ホームページ、



学校案内、受験雑誌、先生方などから学校情報を得ることができます。

特に、本校では中学生、中学校、塾関係者向けに、本校の方針や取り組みを理解していただくために発行している校長通信『清陵』があります。毎月1回、A版とB版の2版体制で発行しています。特別な事柄を記載するため、たまにC版を発行することもあります。A版は主に生徒、保護者などの校内用、B版は中学生、中学生の保護者、中学校教員、塾関係

者など校外用です。この校長通信『清陵』は、学校から生徒、保護者、中学生、中学校、塾関係者へのメッセージが記された広報誌です。

校長通信『清陵』から志望理由の情報を得ることが少なからずできると思います。平成29年4月より発行され、既にA版、B版、C版合わせて約80回も発行されています。特にB版では、「高校選び」シリーズや、「WHAT 清陵? WHY 清陵?」シリーズなど、高校入試に関する記事等が記されているため、本校への志望理由を考える上で貴重な資料となると思います。

この『清陵』のバックナンバーを読みたいという声にお答えして、本校のホームページから閲覧、プリントアウトすることもできます。本校のホームページから閲覧する場合は次のとおりです。

y-seiryo-h.pen-kanagawa.ed.jp で本校のホームページに入り⇒校長室より⇒校長通信

志望理由を考えるにあたって、その学校ならではの志望理由を考えるべきです。どの学校でも使えるような志望理由では、インパクトの強い理由には感じられません。志望理由が強ければ強いほど、受検勉強や面接練習にも頑張れるのではないのでしょうか。

コロナ禍で先が見えにくいですが、高校入試を考えながら勉強に励んでください。